

【2020年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名		ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉相談援助の基盤 I			必修(精) 選択(社.心)	2	2	後期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
齊藤 晋治		B308	s-saito		水曜・木曜 12:10~13:00	
授業の目的・概要		<p><目的> 精神保健福祉士の実践の歴史を通し、支援対象者を理解するとともに、精神保健福祉士の基盤となる価値、倫理について理解し、ソーシャルワーカーとして必要な理論を学ぶ。精神障害者への相談援助について体系的な理解を進めていくことで、多職種協同による精神保健福祉活動の援助スキルを身につける。</p> <p><概要> 授業はテキストを中心に、同時双方向型授業でパワーポイントを使用して進めていく。また、サブテキストとして毎回レジュメをTeams内のフォルダに添付する。授業は前回の振り返り、講義、リアクションペーパーの作成の三部構成となっている。また、第8回時にレポート提出を課す。内容については授業内で発表する。</p>				
学習上の助言		「現代社会と福祉Ⅰ・Ⅱ」で学んだソーシャルワークの歴史を復習しておくこと				
教科書		新・精神保健福祉士養成講座3 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎・専門) 中央法規出版				
参考書		授業の中で随時紹介				
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉士制度の歩みを理解できる。				HSU(4) 精(2)	
②	相談援助の定義、活動内容が理解できる。				精(2)	
③	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割が理解できる。				精(1) 精(2)	
④						
⑤						
⑥						
授 業 計 画						
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)			
1	授業オリエンテーション：授業概要を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。 0			
2	精神保健福祉士制度化の歩みを理解する。①	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 2			
3	精神保健福祉士制度化の歩みを理解する。②	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 2			
4	精神保健福祉士の専門性について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。新聞記事を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 6			
5	社会福祉士の役割と意義について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。新聞記事を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 8			
6	社会福祉士の専門性について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。新聞記事を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 8			
7	社会福祉士の役割と精神保健福祉士との協働について理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。新聞記事を読む。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 8			
8	相談援助の定義とグローバル定義を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 2			
9	相談援助活動の定義と概念を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 2			
10	相談援助の理念と価値を理解する。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 2			
11	相談援助における権利擁護の概念と範囲を理解する。①	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 2			
12	相談援助における権利擁護の概念と範囲を理解する。②	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 2			
13	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割を理解する。①	同時双方向型授業	教科書を読む。レジュメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。 4			

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	精神障害者の権利擁護と精神保健福祉士の役割を理解する。②	同時双方向型授業	教科書を読む。レジユメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。	4				
15	全体のまとめと整理をおこなう。	同時双方向型授業	教科書を読む。レジユメの復習。またフィードバックを基に、前回の確認を行う。	8				
試								
達成度評価								
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
		0	70	0	0	30	100	
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20	
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	10	10	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	10	30	
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①		第3回の講義の際にレポートのテーマを発表する。第8回時にレポートを提出すること。レポートは2000字程度とする。レポートは①文章の構成、②学んだ知識、③思考、推論されているか、④問題を発見する力、現実検討能力の4つの項目についてルーブリック評価を行う。 第13回終了時にレポート課題を発表する。試験期間中の指定された期日までにレポートを提出すること。レポートは2000字程度とする。レポートは①文章の構成、②学んだ知識、③思考、推論されているか、④問題を発見する力、現実検討能力の4つの項目についてルーブリック評価を行う。					
	②							
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	毎回授業終了時にリアクションペーパーを記入する。授業で理解できた内容、質問、授業の感想の3項目で記載する。原則、授業内で回収する。					次回の授業開始時に、前回授業の振り返りと合わせて質問にも答える。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
<p>・ Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-fi 環境を推奨します。</p> <p>・ Teams を使って遠隔授業も行います。課題ダウンロードや動画視聴などがありますので、通信容量制限がある場合は通信容量に十分注意してください。</p> <p>・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更がありえますので、ご承知のほどお願いします。</p> <p>教員の実務経験：精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉士として15年の臨床経験。</p> <p>実践的授業の内容：教科書に記載されている一般の事項を教えつつ、精神保健福祉士としての教員自身の実例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。</p>								